

メラニアツバメガ



美術博物館の
お宝一挙公開！

あみゆー



約50年前のポータブルテレビ

大博覧会

2022



（4167）ヌーナのピロ



ニナルカ遺跡出土の土器



ホホカミウオのはく製

2022.11.26(土) ▶ 2023.1.15(日)

主催 / 苫小牧市美術博物館

後援 / 苫小牧信用金庫、北海道新聞苫小牧支社、株式会社苫小牧民報社、株式会社三星

苫小牧市美術博物館

Tomakomai City Museum [愛称:あみゆー]

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号

TEL 0144-35-2550・FAX 0144-34-0408

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>

www.facebook.com/tomakomai.museum

[@tomakomai_amyu](https://twitter.com/tomakomai_amyu)



休館日: 月曜日 (月曜祝日の場合、その翌平日)

開館時間: 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

観覧料: 一般300(240)円、高大生200(140)円、中学生以下 無料

※()内は10名以上の団体料金。 ※免除規定がありますのでお問合せください。

※年間観覧券でもご覧いただけます。 ※あわせて常設展示、中庭展示もご覧いただけます。

※12月29日(木)~1月3日(火)は年末年始のため休館。

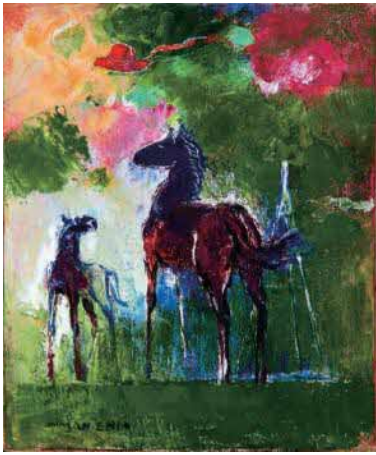
約十四万点の収蔵品から、 学芸員選りすぐりの資料約百点を一挙公開!



▲80年以上前の苫小牧産昆虫コレクション



▲坂東史樹《苫小牧西 No.1 倉庫 (インスタレーション「その仔犬をポケットに入れよ、旅を続けよう」)より》2015年



▲遠藤ミマン《赤い帽子と馬の親子》1975年



▲当館開館時の記念品として作られたタブコブ焼 (上)
(下: モデルとなった土器)

開館以来、当館に集められた資料は約十四万点。その中から、初公開や重要な意味を持つ資料のほか、ちよっと変わった(面白い?)資料など、歴史、美術、考古、自然の各学芸員が選んだ資料を展示します。また、当館がなぜたくさんの資料を集め、保存するのか、知られざる資料収集活動の現状もお伝えします。



◀スピノサウルス下顎骨(実物)

“山線”のなごり残る
バス停の標識▶



関連イベント

○学芸員によるスライドトーク

各分野の学芸員による展示の解説会です。

- 【日時】 ①美術・歴史編
11月27日(日) 14:00~(約50分)
②考古・自然編
12月3日(土) 11:00~(約50分)

- 【会場】 当館研修室
【定員】 先着30名
【対象】 一般
【申込】 不要 ※直接会場にお越しください。

○樹脂でつくる生物標本

植物や昆虫などを樹脂で封入した標本をつくります。

- 【日時】 12月17日(土)・18日(日)
両日 13:30~17:00
※2日間連続の講座です

- 【会場】 当館研修室
【定員】 8名
【対象】 小学5年生以上~大人 ※小学生は保護者同伴
【申込】 11月29日(火)より電話で申込 ※先着順



※写真のものとは異なる場合があります

【アクセス】

- バス 苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「30番」「札幌駅前行」「郊外線(静内行、平取行)」、のりば③から「13番」「14番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車(所要時間約5分、料金210円)、下車後徒歩約5分
- 自家用車 国道276号(支笏湖通)と国道36号の交差点(「苫小牧信用金庫中野支店」かど)を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。出光カルチャーパーク内に駐車場(料金無料、約50台駐車可)があります。

苫小牧市美術博物館

Tomakomai City Museum [愛称:あみゅー]

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号
TEL 0144-35-2550・FAX 0144-34-0408
<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>

Facebook: www.facebook.com/tomakomai.museum Twitter: @tomakomai_amy

